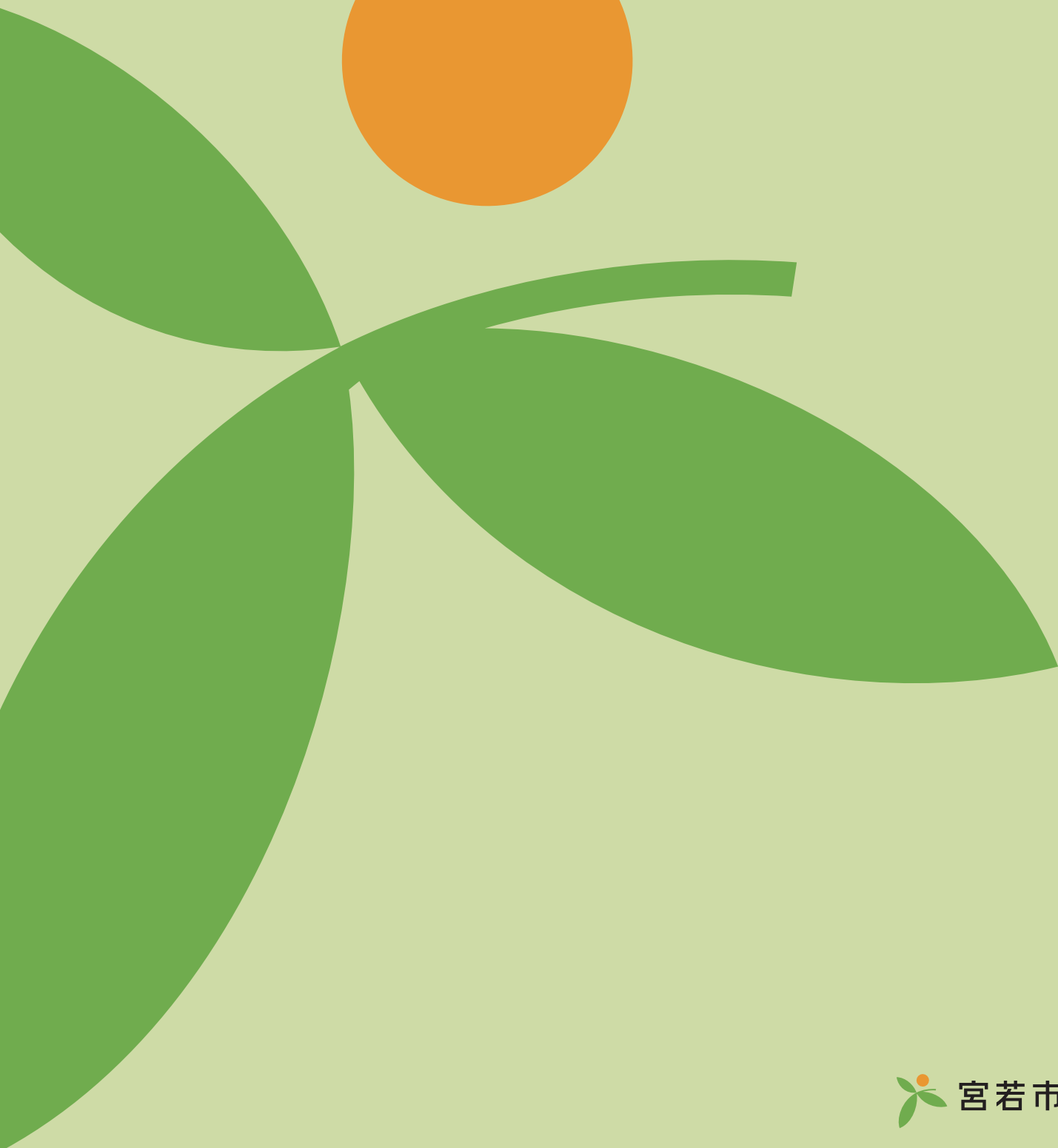


平成29年度
わかりやすい決算書

宮若市マネーブック

主要施策の成果報告書



ごあいさつ

宮若市では、市民参加による協働のまちづくりを推進するため、市民の皆さんにまちづくりに関する情報を積極的にお知らせし、情報の共有に努めております。そのひとつとして、決算の概要をわかりやすく説明した「宮若市マネーブック～わかりやすい決算書～」を作成しており、このたび、平成29年度分の決算内容をまとめたマネーブックが完成しましたのでお知らせします。

平成29年度は、企業収益の増加による法人市民税の増収や市有地の売却、光陵団地整備事業の完了による普通建設事業費の減少などの要因に加え、事務事業の見直しなど継続した行財政改革の推進により、一般会計決算において黒字を確保することができました。

また、まちづくりのグランドデザインである「第1次宮若市総合計画」が区切りを迎えることから、平成29年度は、次の10年の将来像やその実現に向けた基本目標と施策の大綱を示した「第2次宮若市総合計画基本構想」の議決を受け、前期5年の具体的な施策を分野別に体系化した「第2次宮若市総合計画前期基本計画」を策定しました。

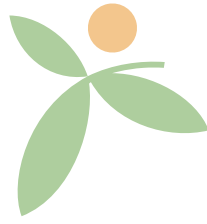
第1次総合計画の重点プロジェクトのひとつとして掲げておりました定住促進施策は、住宅団地「光陵 WONDER! GARDENS」について、定住奨励金制度などの施策と併せて広くPRを行ったことで、子育て世代の方々を中心に市内外問わず多くの皆さんから好評を得て、全153区画を1年余りの短期間で完売することができました。さらに、教育先進のまちづくりを進める中、施設一体型の小中一貫校、宮若西小学校・宮若西中学校の小学校再編に伴うスクールバスの運行開始、安全で快適な学習環境を確保するため、幼稚園と小学校に空調設備を設置するなど、まちの将来を担う子どもたちの教育環境の整備を進めるとともに、中心拠点整備の核となる市役所本庁舎については、防災拠点機能を備え市民の利便性に配慮したシンプルで身の丈にあった施設として、平成31年度末の完成を目標に基本・実施設計に取り組み、また、防災対策については、災害時などの情報発信の根幹となる防災行政無線を整備し、本年4月より運用を開始いたしております。

宮若市は市制施行13年目を迎え、次の10年を見据えた新たなまちづくりのさなかにあります。これまでに築いた都市基盤や生活基盤を礎に、宮若市にある魅力を最大限に活かし、発展させ、さらに創造しながら、一步一步着実に歩みを進めて参ります。このまちに住む皆さんが「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と感じ、誇りを持てるような輝くふるさとづくりに向けてさらに邁進して参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年9月

宮若市長
有吉 裕信





はじめに

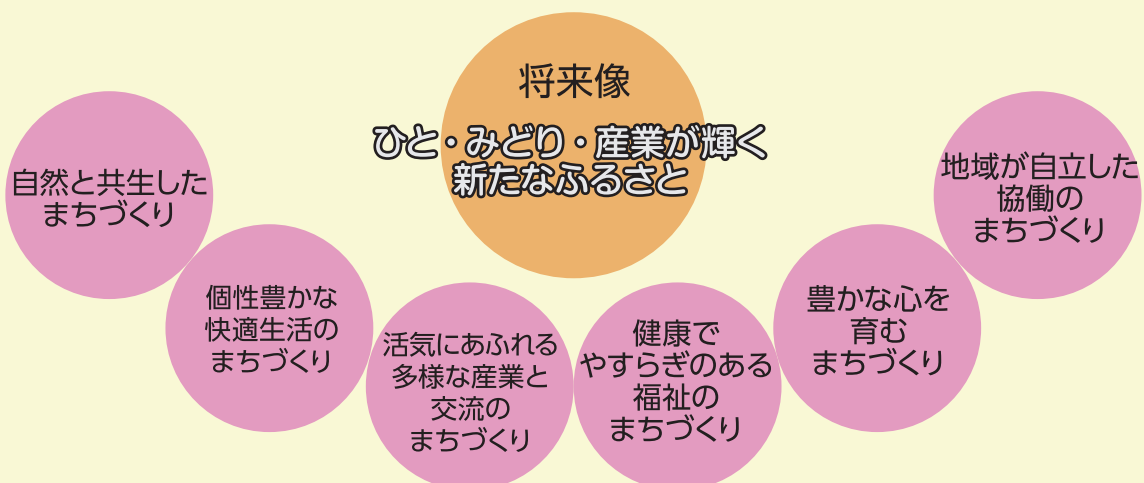
宮若市では、市民の皆さんと協働でまちづくりを行うため、市の情報を積極的に公開しており、その1つの方法として、予算書と決算書の概要版を作成し、市民の皆さんに配布しています。

このマネーブックは「第1次宮若市総合計画」で定めた6つの基本方針に基づいて構成しています。基本方針ごとに、どのような事業を行い、どのくらいのお金を使ったのかをできるだけわかりやすく紹介しています。

なお、個々の事業の内容については、直接担当課までお問い合わせください。

宮若市では「ひと・みどり・産業が輝く 新たなふるさと」を将来像としてまちづくりを行っています。この実現に向けて、6つの基本方針を定めています。

まちづくりの基本方針



もくじ

宮若市一般会計決算	4
グラフで見る財政状況	6
第1章 自然と共生したまちづくり	8
自然環境と地域景観の保全	
廃棄物処理とリサイクル対策の推進	
水利用と上水道の整備	
下水道等の整備	
治山・治水・砂防対策の充実	
第2章 個性豊かな快適生活のまちづくり	9
調和のとれた土地利用の促進	
中心拠点、地区拠点の整備	
定住・住宅施策の推進	
道路・交通網の整備	
公園・緑地の整備	
消防・防災・防犯・交通安全の充実	
第3章 活気にあふれる多様な産業と交流のまちづくり	11
農林業の振興	
企業誘致の推進	
商業の振興	
観光の振興	
第4章 健康でやすらぎのある福祉のまちづくり	13
社会福祉の充実	
児童・母子福祉の充実	
高齢者福祉の充実	
障がい者福祉の充実	
健康づくりの推進	
医療の充実	
第5章 豊かな心を育むまちづくり	16
学校教育の充実	
生涯学習の推進	
スポーツの推進	
青少年の健全育成	
芸術文化活動の充実	
文化財の保護・継承	
第6章 地域が自立した協働のまちづくり	18
ふれあい交流活動の充実	
人権尊重社会の構築	
地域コミュニティの形成	
地域情報化の推進	
市民参加の推進	
第7章 計画の推進と実現のために	19
資料 決算概要	20
ダイアルガイド	24
宮若市市民憲章・宮若市歌「輝くふるさと」	25

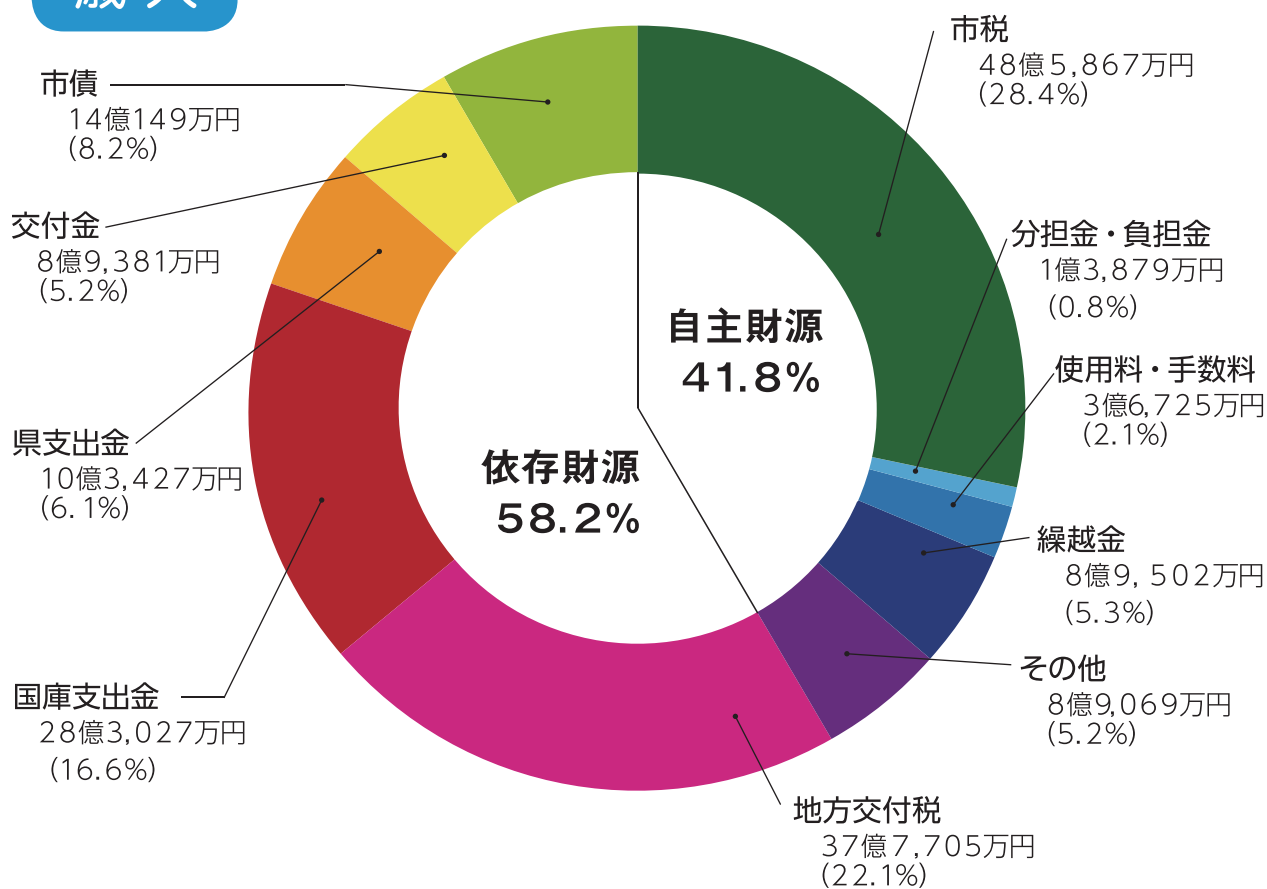
平成29年度 宮若市一般会計決算

歳入 170億8,731万円

歳出 158億9,440万円

差引 11億9,291万円

歳入



自主財源 41.8% (前年度比 +3.5%)

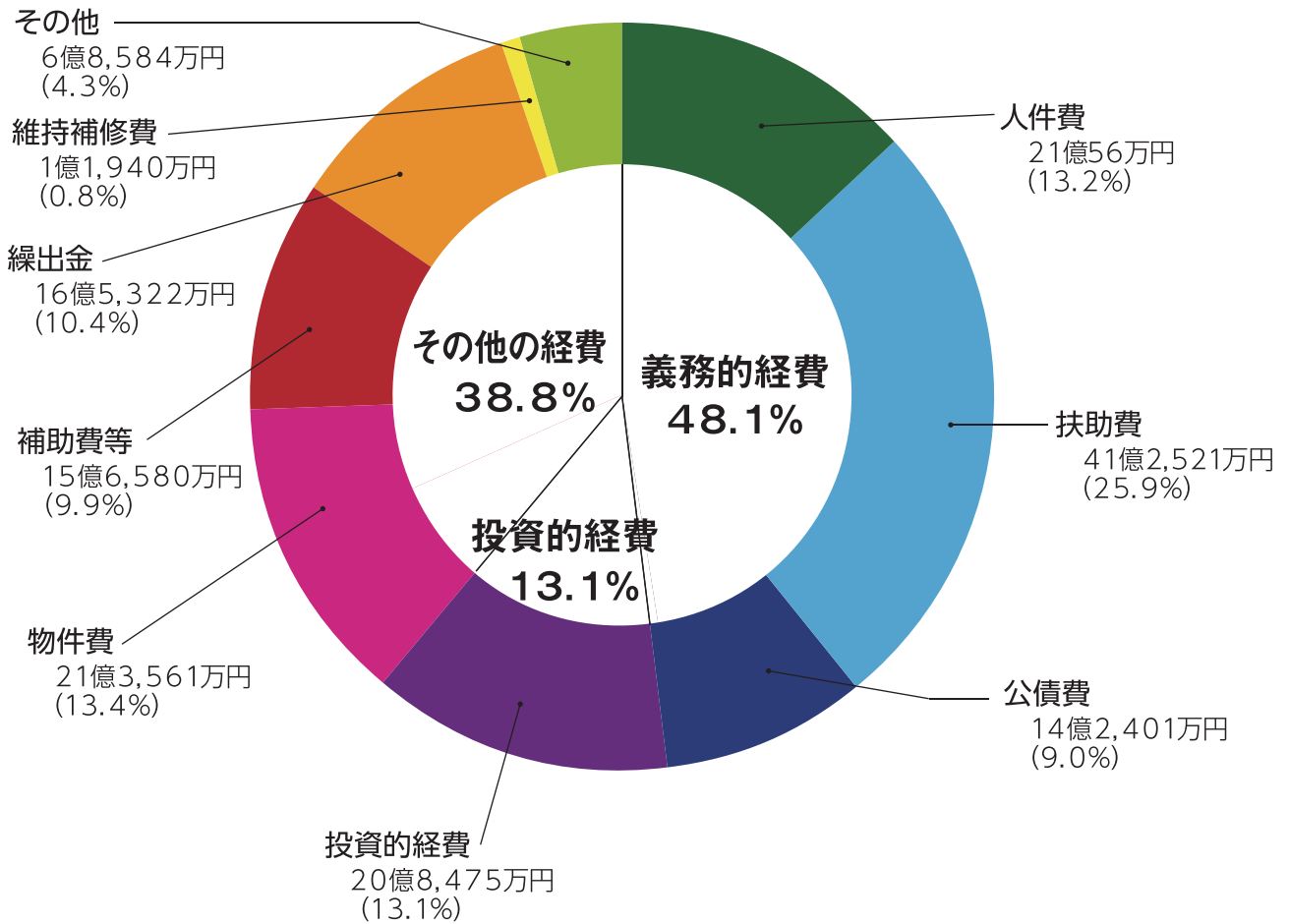
市が自主的に収入できるお金のことで、市税や負担金、使用料、繰越金などのことです。この割合が高いほど財政が安定し、自主的な事業に取り組むことができます。

法人市民税や固定資産税などの市税が増加しました。

依存財源 58.2% (前年度比 -3.5%)

国や県から交付されるお金のことで、国・県支出金、地方交付税、市債などのことです。市税が増加したことなどにより、地方交付税が減少しました。

歳出



義務的経費 48.1% (前年度比 増減なし)

市職員や議員などの人件費、児童・高齢者・生活困窮者などの支援に要する扶助費、市の借金の返済である公債費のことで、この割合が高いと財政構造が硬直化し、自主的な事業が制限されます。職員数が減ったことで人件費が減少し、社会保障関係経費の増加により、扶助費が増加しました。

投資的経費 13.1% (前年度比 - 0.7%)

道路や公共施設の整備、災害復旧などにかかるお金のことです。小中一貫校や光陵団地の整備が終了したことにより減少しました。

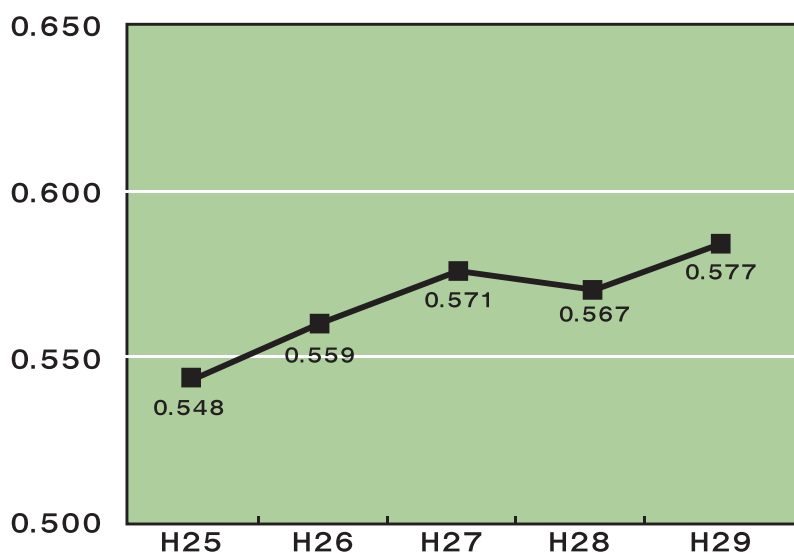
その他の経費 38.8% (前年度比 + 0.7%)

施設の維持管理や賃金などの物件費、各種団体や消防署・介護保険広域連合などへの負担金、特別会計への繰出金などのことです。宮若西小学校などでスクールバスの運行委託を開始したことなどにより増加しました。

グラフで見る財政状況

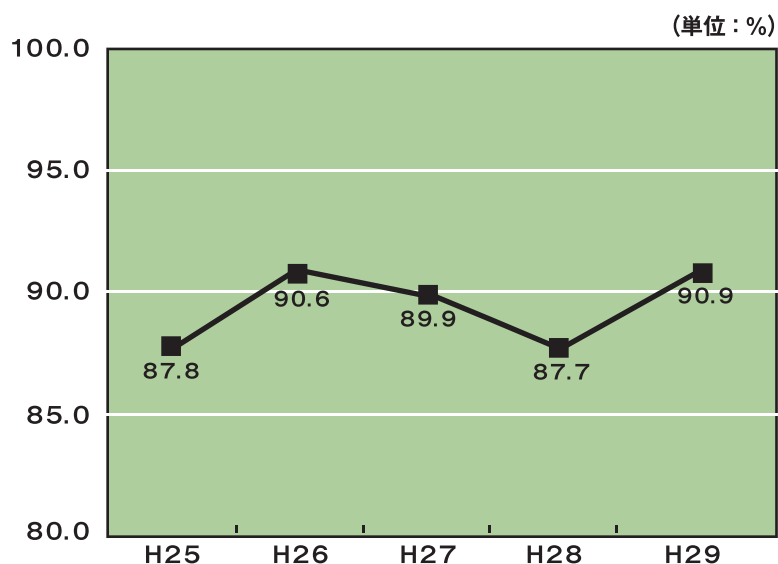
宮若市の財政指標をグラフで見てください。経年変化を追うことで市の財政が好転しているのか悪化しているのかを捉えることができます。

財政力指数



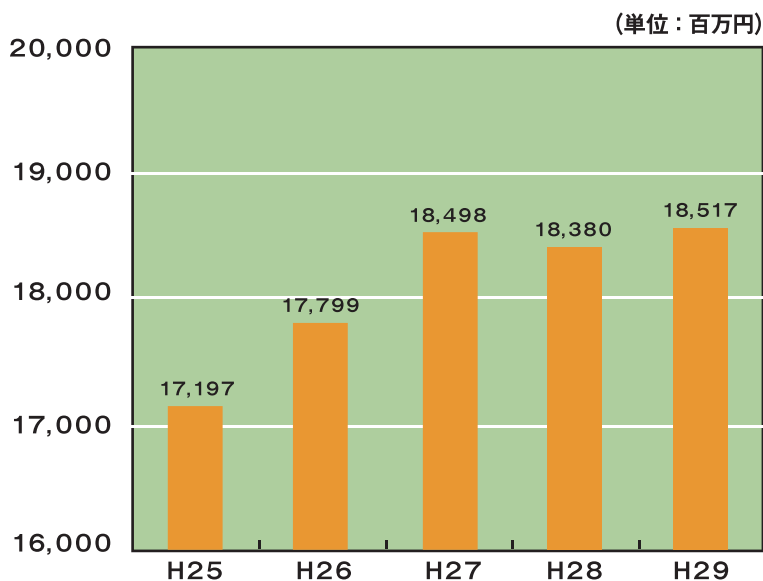
財政力指数は財政基盤の強さを表すもので、「1」に近づくほど財源に余裕があるといえます。自主財源である市税が増加したため、少し高くなりました。

経常収支比率



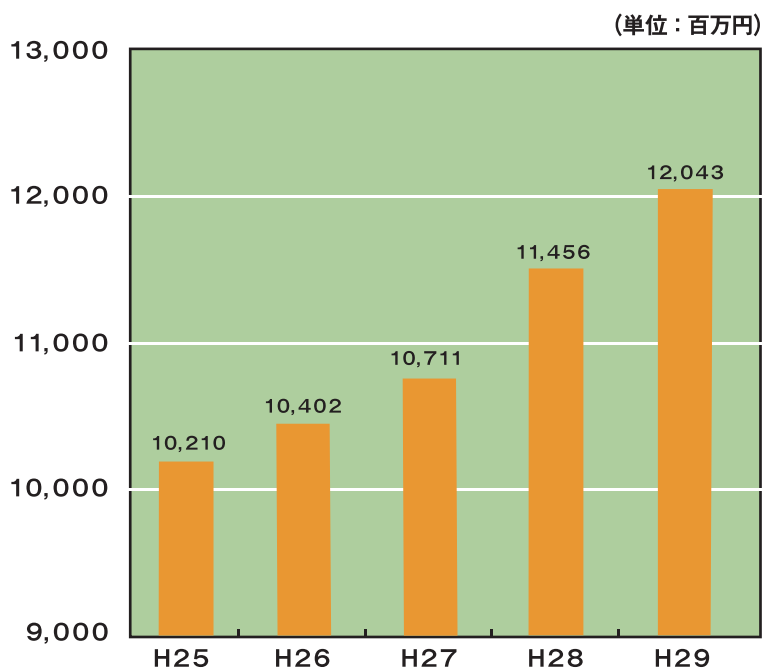
経常収支比率は、財政構造の弾力性を表すもので、安定して収入される財源に占める固定的に支出されるの経費の割合です。数値が低いほど柔軟な財政運営ができるといえます。普通交付税が減少したため高くなりました。

市債残高



市債とは市の借入金のことです。長年にわたって使用する公共施設については、将来その施設を使う人にも平等に負担してもらう目的もあります。防災行政無線の整備のための借入を行ったことにより、残高は増加しました。

基金残高



基金とは、市の貯金のことです。経済情勢の著しい変動等による収支の悪化に備えるための財政調整基金やその他特定の事業を行う目的で積み立てを行っている基金などがあります。施設整備等基金などへの積み立てにより増加しています。

第1章

自然と共生したまちづくり

自然環境と地域景観の保全

■ 空家等対策事業（まちづくり推進課）

10 万円

財源 市：10万円

広報や各配布物を通じて、空家化の予防や適切な管理の推進、空き家情報バンクの利用促進など、啓発活動を行いました。

また、空家の状態や管理状況等を把握するため、所有者等にアンケート調査を行うことで、状況の把握に努めました。

■ 不法投棄防止対策事業（環境保全課）

100 万円

財源 市：100万円

不法投棄防止推進委員による監視体制の強化や不法投棄防止監視カメラ、看板、防護柵の設置などによる不法投棄の防止に努めました。

また、環境クリーン作戦や遠賀川流域河川一斉清掃の実施、自治会などが実施している環境美化運動の支援を行いました。

廃棄物処理とリサイクル対策の推進

■ ごみの減量化・リサイクル推進事業（環境保全課）

584 万円

財源 市：570万円 その他：14万円

ごみの減量化・リサイクルを推進するため、毎月第2・4日曜日に市役所本庁と若宮コミュニティセンターで行っている資源物拠点回収を継続して実施しました。

また、リサイクル活動登録団体への奨励金の交付、生ごみ処理機器やダンボールコンポスト購入者への補助を行いました。



水利用と上水道の整備

■ 浄水施設整備事業（水道課）

3億5,965 万円

財源 国：8,468万円 その他：323万円
市：2億7,174万円（うち市債：2億6,080万円）

宮若市の水道水は、遠賀川水系八木山川の地下水と犬鳴ダムを水源とした上水道により供給しており、計画的に水道施設の整備を進めています。平成29年度も生見浄水場や沼口浄水場など浄水施設の整備を行いました。

また、平成24年度より継続して実施している生見、神ノ隈浄水場統合整備事業は、（新）生見浄水場が完成しました。

■ 配水管整備事業（水道課）

7,836 万円

財源 その他：156万円
市：7,680万円（うち市債：5,990万円）

各浄水場できれいになった水を運ぶための配水管が市内各所に埋設されています。平成29年度は、宮田・小竹線配水管更新工事外7カ所や配水管の更新・耐震化を行いました。

下水道等の整備

■ 公共下水道建設費（下水道課）

4億2,910 万円

財源 国：1億3,377万円 その他：4,477万円
市：2億5,056万円（うち市債：1億8,760万円）

福岡県が事業主体である遠賀川中流流域下水道事業の進捗状況と併せて、詳細設計と調査などの業務を行い、事業認可区域内の幹線管きよや末端管きよの整備促進を図りました。

また、遠賀川中流流域下水道事業では、広域的な汚水処理対策を図るため、福岡県と関連市町が連携して整備を促進しました。

■ 合併浄化槽整備事業（下水道課）

1,286 万円

財源 国：416万円 県：416万円 市：454万円

汚水処理構想に基づき、公共下水道整備区域以外での浄化槽の設置を推進しました。平成29年度は、5人槽20基、7人槽11基、10人槽1基、11人槽以上1基の合計33基の設置を図りました。

治山・治水・砂防対策の充実

■ 砂防費（土木建設課）

4,484 万円

財源 県：2,100万円
市：2,384万円（うち市債：2,100万円）

福岡県の補助事業である急傾斜地崩壊対策事業により、宮日田（金生）と脇田地区の整備を進めました。

■ 荒廃森林再生事業（農政課）

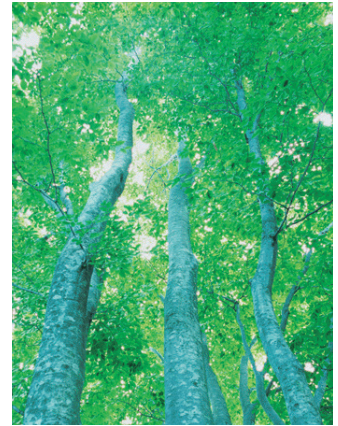
1億3,952 万円

財源 県：1億3,952万円

森林には、木材生産だけでなく、水や酸素の供給、土砂災害防止、洪水・渇水の緩和や地球温暖化の防止などの役割があります。

しかし、近年では林業不振などによる森林の荒廃が進行しており、洪水や渇水、土砂災害の発生など、人々の生活に大きな影響を及ぼす恐れがあります。

そのため、宮若市では、福岡県の森林環境税を使った取組として、未整備となっている森林の整備に取り組みました。



第2章 個性豊かな快適生活のまちづくり

調和のとれた土地利用の促進

■ 国土調査の実施（土地対策課）

5,382 万円

財源 国：2,012万円 県：1,006万円
市：2,364万円

個人の権利や財産を尊重し、国土の開発、保全、利用の円滑化を図るため、平成29年度は、四郎丸と山口地区の一部の地籍図と地籍簿の作成、一筆地調査、測量を実施しました。調査完了後は、国の承認を経て法務局の字図と登記簿が修正され、土地取引の円滑化や行政運営の効率化が図られます。

中心拠点、地区拠点の整備

■ 中心拠点の整備（まちづくり推進課）

5,104 万円

財源 市：5,104万円（うち市債：1,570万円）

中心拠点の整備については、議会の中心拠点施設整備調査特別委員会や学識経験者、関係機関の代表者などで構成される宮若市中心拠点整備推進協議会などの意見や提案を伺いながら、新庁舎建設に関する設計に取り組みました。

また、新庁舎建設予定地に立地する、市役所第3別館を解体除去しました。



定住・住宅施策の推進

■ 住宅団地分譲事業（まちづくり推進課）

171 万円

財源 国：37万円 市：134万円

「光陵 WONDER! GARDENS」の分譲を促進するため、イベントの開催など、様々な機会や媒体を通して、販売促進活動を進めました。安価な価格や広い敷地、立地の良さなど、好条件に後押しされたことで好調な分譲が続き、全153区画が完売しました。



■ 定住促進事業（まちづくり推進課）

1億236 万円

財源 国：1,582万円 市：8,654万円

定住奨励金は、宮若市に定住するため新たに住宅等を取得した人を対象に、固定資産税相当額を奨励金として、延べ463件を交付しました。

また、子育て・新婚世帯家賃補助については、将来の定住者となり得る若い世代の確保を図るため、新婚世帯と転入した子育て世帯を対象に、民間賃貸住宅の家賃に対する補助金を延べ286件交付しました。



■ 住宅管理事業（建築都市課）

9,988 万円

財源 国：1,916万円 市：8,072万円

市営住宅長寿命化計画の維持管理計画に基づき、住宅の安全性確保や長寿命化を図るため、国の補助金を活用し、新成団地外壁改修工事を実施しました。

また、市民が快適に住み続けられることや、消費を促し地域経済の活性化を図るため、個人住宅と地区公民館を対象に住宅等改修補助金制度を継続して実施しました。

さらに、耐震改修促進計画に基づき、木造戸建て住宅耐震改修補助金制度を引き続き実施しました。

道路・交通網の整備

■ 生活交通手段の確保と利用促進

（産業観光課）

5,685 万円

財源 県：51万円 市：5,634万円

地域バス路線対策として、路線バス廃止代替8路線や路線バス（JRバス・西鉄バス）、中学校統廃合による東部地区の通学手段確保と併せて、小竹駅への新規路線に係る運行維持費を補助しました。

■ 道路新設改良費（土木建設課）

3億1,711 万円

財源 国：1億1,499万円

市：2億212万円（うち市債：1億1,520万円）

幹線となる市道の大規模な新設・改良は、国庫補助事業で整備を進めており、地域や企業と調整、協力しながら、問題や課題を整理します。

また、市域を通過する各県道との整合性を図りながら、市道原田・沼口線、里1号線、小谷線、前平田・和田線、浦田・京野線、坂元・中川原線外の整備を促進し、歩道の整備を含め、利便性や安全性を高めました。

■ 道路橋りょう総務費（土木建設課）

495 万円

財源 市：495万円

市民と行政の協働による良好な道路環境の保全推進を目的とした道路愛護推進活動について、積極的に周知を行うことで、活動団体の増加に努めました。

公園・緑地の整備

■ 公園整備事業費（土木建設課）

2,665 万円

財源 国：943万円
市：1,722万円（うち市債：1,540万円）

公園再整備計画の詳細設計を基に、都市再生整備計画事業を活用し、交流・情報の発信拠点として、利用者や地域住民のニーズに適合した整備を進めました。

■ 河川公園・2000年公園維持

管理事業（まちづくり推進課）

1,114 万円

財源 市：1,114万円

犬鳴川河川公園や2000年公園については、市民団体等との協働による管理を行うとともに、市民団体や企業、行政、学校など、多くの方々の交流の場としての活用を推進しました。

消防・防災・防犯・交通安全の充実

■ 犯罪を防止する環境整備（総務課）

785 万円

財源 市：785万円

自治会などによる防犯灯の設置を支援し、犯罪を防止する環境整備を進めました。

■ 消防団の充実強化（総務課）

1,772 万円

財源 市：1,772万円（うち市債：1,770万円）

地域防災の要となる消防団については、消防団員の確保や消防設備の充実に努めました。平成29年度は、小型動力ポンプ付軽四輪駆動積載車を3台購入しました。

■ 防災行政無線の整備（総務課）

4億7,036 万円

財源 市：4億7,036万円（うち市債：4億7,030万円）

地震などによる災害発生時や緊急時に迅速な情報伝達を行うため、防災行政無線を整備し防災体制の強化を図りました。

第3章

活気にあふれる多様な産業と交流のまちづくり

農林業の振興

■ 営農推進対策事業（農政課）

588 万円

財源 市：588万円

宮若市独自の事業として、堆肥等土壌改良剤の投入による土壌改良や農業害虫の駆除、特産品の開発、販路拡大事業などに対して助成を行いました。

■ 有害鳥獣被害対策事業（農政課）

250 万円

財源 市：250万円

深刻化する鳥獣害に対応するため、猟友会をはじめ、関係機関などとの連携を強化することにより、さらなる駆除活動に努めました。

また、鳥獣被害防止特措法に基づく、地域単位でのワイヤーメッシュ柵や電気牧柵の設置事業や市独自の防護柵等設置補助制度により、被害防除を図りました。

■ 青年就農給付金（農政課）

338 万円

財源 国：338万円

若年層の就農意欲を高め、その後の定着を図るため、経営開始計画を認定された45歳未満の就農者に対し、給付金を交付しました。

■ 宮若米のPR事業（農政課）

46 万円

財源 国：23万円 市：23万円

米の生産技術の向上を推進するとともに、良食味米として宮若米を市内外にPRし販売促進を図るため、宮若うまい米コンクールを実施しました。



■ 企業誘致の推進

■ 企業誘致活動（まちづくり推進課）

6,828 万円

財源 市：6,828万円

磯光工業団地が完売し、遊休市有地へも企業進出が決定するなど、複数の企業の立地が決定しました。

また、進出が決定した企業の工場建設、操業開始に伴い、企業立地促進助成金を交付しました。

■ 商業の振興

■ 特産品の開発・販路開拓の推進

（産業観光課）

360万円

財源 市：360万円

特産品や農産物の販路開拓や宮若ブランドの確立を図るため、商業者と認定農業者で組織する宮若じまん振興会に対して補助金を交付し、販路拡大や普及促進に取り組みました。

■ 観光の振興

■ イメージアップ・観光情報発信事業

（産業観光課）

525 万円

財源 その他：339万円 市：186万円

宮若市のイメージアップを図るため、宣伝効果や話題性が高く、市の特産品でイメージキャラクターでもある追い出し猫を積極的に活用し、市内外のイベントや観光物産展などを通じて、宮若市や特産品、観光資源のPRを行いました。

また、市の魅力を発信するため、観光パンフレットや観光案内マップの作成、宮若なびの整備を行いました。

■ 観光資源の整備（産業観光課）

1,027 万円

財源 その他：112万円 市：915万円

既存観光施設やイベントの魅力向上、地域観光資源の掘り起こしを進め、観光入込客の増加を図りました。

また、いこいの里千石のキャンプ施設が安全に利用できるよう修繕などを行うとともに、維持管理費を軽減するため、老朽化したバンガローを削減し、規模を縮小しました。

さらに、観光事業等基金を活用し、犬鳴ダム資料館の補修など環境整備を行いました。

社会福祉の充実

■ 臨時福祉給付金給付事業（保護人權課）

1億210万円

財源 国：1億210万円

消費税率の引き上げによる影響を緩和するため、低所得者に暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金（経済対策分）を支給しました。

■ 社会福祉協議会の活動支援

（保護人權課）

5,054万円

財源 市：5,054万円

社会福祉協議会が実施している地域福祉推進事業やボランティア活動推進事業、各種相談事業、高齢者・障がい者支援事業など、事業活動の拡充を支援しました。

児童・母子福祉の充実

■ 母子・父子家庭等への支援

（子育て支援課）

2億1,130万円

財源 国：7,276万円 県：46万円
市：1億3,808万円

母子・父子家庭等の生活の安定と自立支援を促進するため、児童扶養手当や高等職業訓練促進給付金などの給付を行いました。

■ 学童保育事業（子育て支援課）

5,870万円

財源 国：1,555万円 県：1,591万円
市：2,724万円

小学校区に合わせて市内5カ所（8クラブ体制）で学童保育を運営し、小学生のいる子育て世帯を支援しました。

また、若宮地区と笠松地区の小学校再編に併せて、平成29年度から宮若西学童保育所の定員を増員しました。

■ 子育て支援センターの運営

（子育て支援課）

2,345万円

財源 国：938万円 県：938万円
その他：288万円 市：181万円

3カ所の子育て支援センター、さくらんぼ（さくら幼稚園内）・たんぽぽ（宮若リコリス内）・たけんこ（若宮幼稚園横）では、子育て相談や親子の交流の場として、地域の身近な子育て支援の拠点となるよう継続して運営を行いました。

また、さくらんぼとたけんこ、第2保育所の3カ所で実施している一時預かり事業のうち、たけんこでは保護者からの要望が多かった1日預かり事業を平成29年度から開始しました。

■ 病児保育事業（子育て支援課）

62万円

財源 市：62万円



病児保育は、生後4カ月から小学6年生までを対象として、子どもが病気になった時に保護者の就労などの理由で自宅で看病が出来ない場合、専用の施設で預かる事業です。平成28年度から、宮若市・直方市・鞍手町・小竹町の2市2町での広域事業として、鞍手乳児院（鞍手町）で事業を開始し、引き続き、平成29年度も事業を実施しました。

■ 保育所・認定こども園の運営

（子育て支援課）

6億2,119万円

財源 国：1億4,341万円 県：7,133万円
その他：9,238万円 市：3億1,407万円

公立保育所や私立保育所における通常保育や延長保育などの保育サービスを継続して実施しました。平成29年度からは、英語教育を実施する私立保育園に対して事業費の一部を補助する宮若市独自の制度を実施しました。

高齢者福祉の充実

■ 地域包括ケア体制の確立（健康福祉課）

4,877 万円

財源 その他：4,721万円 市：156万円

団塊の世代が75歳以上となる平成37年を目処に、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築のため、生活支援サービスの体制整備や在宅医療・介護連携、認知症施策、地域ケア会議の推進などに取り組みました。

■ 介護予防事業（健康福祉課）

4,429 万円

財源 その他：2,069万円 市：2,360万円

高齢者生きがい活動支援通所事業のうち、社会福祉協議会へ委託している「あったかサロン」は、平成29年度から笠松ブロックでも開催し、高齢者の方へ健康づくりサービスや社会参加活動サービス、生きがいサービスなどを提供しました。

また、要支援・要介護状態になることを予防するとともに、要介護状態になった場合でも、できる限り地域で自立した日常生活を営むことができるよう、介護予防教室を実施しました。



■ 高齢者福祉計画の策定（健康福祉課）

272 万円

財源 市：272万円

高齢者の福祉を総合的かつ計画的に推進することを目的に、計画期間を平成30～32年度とする、宮若市高齢者福祉計画を策定しました。

障がい者福祉の充実

■ チャレンジ雇用の実施（総務課）

118 万円

財源 市：118万円

障がいのある人が民間企業へ就職するための経験を積む機会としてチャレンジ雇用を実施し、民間企業への円滑な就職を支援しました。（1名就職）

■ 障がい者計画・障がい福祉計画の推進及び見直し（健康福祉課）

269 万円

財源 市：269万円

障がいの有無に関わらず、すべての市民が地域社会の中でともに暮らし、安心して生活できるまちづくりの実現に向け、障がい者施策を計画的に推進していくため、障がい者計画・障がい福祉計画の見直しを行いました。

健康づくりの推進

■ 健康増進計画の策定（健康福祉課）

26 万円

財源 市：26万円

国や県の計画に基づき、宮若市の健康づくり推進の指針となる第1次宮若市健康増進計画を策定しました。

■ 総合健診（健康福祉課）

1,466 万円

財源 国：17万円 市：1,449万円

生活習慣病の早期発見のため、各種検診を実施しました。また、近年男性のがんとして罹患率が高くなっている前立腺がん検診を新たに追加し、新規受診者の掘り起こしや、各種検診の受診率向上に努めました。

- ・健康診断
- ・骨粗鬆症検診
- ・歯科検診
- ・肝炎ウイルス検査
- ・がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・前立腺がん）

■ みやわか健康ポイント事業

(健康福祉課)

310 万円

財源 市：310万円

自主的な健康づくりを支援するため、健康づくりに関する事業をポイント化し、ポイント達成者全員への記念品贈呈を行いました。



■ 妊婦健康診査 (健康福祉課)

2,097 万円

財源 市：2,097万円

母子ともに安全な出産を迎えるため、妊婦健康診査の費用を公費負担し、受診を促進しました。

また、出産後の子育てがスムーズにいくように妊娠中から健康管理の支援を行いました。



■ 予防接種 (健康福祉課)

6,985 万円

財源 市：6,985万円



感染症予防のため、予防接種法に基づく定期予防接種を推進しました。

また、宮若市の単独事業として、70歳以上を対象とした高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部助成事業を継続して行いました。

- ・ 四種混合
- ・ 二種混合
- ・ ポリオ
- ・ BCG
- ・ ヒブ
- ・ 水痘
- ・ B型肝炎
- ・ 三種混合
- ・ 日本脳炎
- ・ MR (麻疹、風疹)
- ・ インフルエンザ
- ・ 小児肺炎球菌
- ・ 子宮頸がん
- ・ 成人用肺炎球菌

■ 特定健診・特定保健指導 (市民生活課)

2,166 万円

財源 国：348万円 県：348万円
市：1,470万円

特定健診は内臓脂肪型肥満に着目した健康診査で、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に該当する人などを対象に生活指導などを行い、生活習慣病を予防することを目的としています。平成29年度から、特定健診を受診し結果説明を受けた人に対しては、宮若市関連の商品を配布するなど、さらなる受診率の向上を図りました。

また、受診の結果、生活習慣病の予備軍や要受診者となる人を対象に、保健師・管理栄養士による受診指導、生活改善指導を実施し、疾病の発症・悪化の防止に努めました。



医療の充実

■ 医療費適正化対策 (市民生活課)

8 万円

財源 市：8万円

宮若市の国民健康保険財政の健全化に向けた取組の一つとして、ジェネリック医薬品(後発医薬品)の使用による減額通知を実施するとともに、医療機関などに対しても働きかけを行い、普及促進に努めました。



第5章

豊かな心を育むまちづくり

学校教育の充実

■ 確かな学力の育成 (学校教育課)

1,586 万円

財源 県：87万円 市：1,499万円



学力向上については、確かな学力を確立するための基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを育成し、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図るため、学力向上プロジェクトE事業を中心として、様々な事業を実施しました。

平成27年度から実施している放課後学習みやわかアフタースクールを全小中学校に広げ、子どもたちの学習支援を行いました。

また、教員の資質向上のためのみやわか教師塾の開催、学力実態調査・体力実態調査の実施、トヨタ自動車九州(株)の協力を得てサイエンス・スクールを継続して実施しました。

さらに、宮若東中学校が福岡県の学力向上拠点推進事業の研究指定を受け、授業改善・指導力向上を目指した取組を進めました。



■ 英語教育の推進 (学校教育課)

2,489 万円

財源 県：78万円 市：2,411万円

平成32年からの小学校5・6年生の英語科の全面実施や国際理解教育の推進を図るため、幼稚園、小中学校にALTを派遣し、英語活動や外国語活動の充実に努めました。

また、平成27年度から研究指定を受けている文科省の英語教育強化地域拠点事業の最終年次の取組を進めました。

■ 教育施設の適正配置 (学校教育課)

4,351 万円

財源 市：4,351万円

学校等整備計画に基づき宮若西中学校区の小学校5校を再編し、平成29年4月に宮若西小学校を開校しました。この再編に伴う通学手段として、スクールバス10台を運行しました。



■ 特別支援教育支援員配置事業

(学校教育課)

1,542 万円

財源 市：1,542万円

市内小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒や通常学級に在籍している発達障がいがある児童生徒など、特別な支援が必要な子どもたちに適切な教育的支援を行うため、特別支援教育支援員を配置するなど、特別支援学級などの教育活動の充実を図りました。

また、特別に支援を必要とする児童生徒の就学などについては、発達障がい相談支援カウンセラーによる助言や関係機関との情報交換を行いながら円滑に連携することで、児童生徒にとって適切な教育支援を行いました。

■ 学校・家庭・地域の連携協力の推進

(学校教育課)

93 万円

財源 県：62万円 市：31万円

学校・地域・家庭が力を合わせて学校運営に取り組むことで子どもたちを育む、地域とともにある学校づくりを推進するため、学校運営協議会推進委員会を設置し、平成30年度からのコミュニティ・スクールの導入に向けた取組を推進しました。

■ 幼稚園・小学校空調設備設置事業

(学校教育課)

1億6,302 万円

財源 国：5,488万円

市：1億814万円 (うち市債：1億800万円)

空調設備が未整備であった宮若東中学校区の宮田南・宮田北・宮田東・宮田小学校の教室と体育館、宮田南・宮田北幼稚園の保育室に、国の補助金を活用して空調設備を設置しました。

■ スポーツの推進

■ 光陵グリーンパークの整備

(社会教育課)

3億542 万円

財源 国：1億3,614万円

市：1億6,928万円

(うち市債：1億2,240万円)

光陵グリーンパークは、平成28年度までに光陵グリーンスタジアム(野球場)、多目的グラウンド、クラブハウスなどが完成し、平成29年度は、アリーナ(多目的屋内施設)の整備を行いました。



■ 生涯学習の推進

■ 生涯学習推進体制の充実

(社会教育課)

171 万円

財源 市：171万円

平成28年度に実施した生涯学習基本計画策定のためのアンケート結果を踏まえ、第2次宮若市生涯学習基本計画を策定しました。

■ 青少年の健全育成

■ 体験学習の推進 (社会教育課)

75 万円

財源 市：75万円

小学生を対象に、週5日制事業わいわいサークルや夏休み・春休みを利用したサマーチャレンジ、スプリングチャレンジを開催し、子どもたちの様々な体験活動の機会を提供しました。



■ 芸術文化活動の充実

■ 芸術文化鑑賞機会の充実 (社会教育課)

269 万円

財源 市：269万円

市民文化祭やコンサート、文化シンポジウムを開催し、芸術文化に触れる機会を提供しました。

■ 文化財の保護・継承

■ 文化財の整備・保存の推進

(社会教育課)

1,228 万円

財源 国：500万円 県：75万円 市：653万円

国指定史跡である竹原古墳の保存整備に取り組みました。



第6章

地域が自立した協働のまちづくり

ふれあい交流活動の充実

3者協定に基づく海外交流事業

(総合政策課)

184 万円

財源 市：184万円

トヨタ自動車九州(株)、宗像市と宮若市の地域連携の取り組みとして、市内在住の中高校生を海外に派遣するプログラムを実施しました。現地のホストファミリーや同世代のバディとの交流や日本のことを伝えるプレゼンテーションなどを通じて、将来を担うグローバルな人材の育成に取り組みました。宮若市からは、5名の中高生をカナダに派遣しました。



人権尊重社会の構築

男女共同参画基本計画の策定

(保護人権課)

238 万円

財源 市：238万円

男女共同参画意識の啓発を図るとともに、男女共同参画に関する講座の開催など学習活動を推進するため、第2次男女共同参画基本計画を策定しました。

地域コミュニティの形成

職員地域担当制度 (まちづくり推進課)

170 万円

財源 市：170万円

自治基本条例に基づく職員の地域担当制度については、市内各ブロックで地域と職員が協働し、様々な行事、イベントを実施しました。

地域情報化の推進

社会保障・税番号制度の適正な運用 (総務課)

2,244 万円

財源 国：827万円 市：1,417万円

平成28年1月から運用が開始されたマイナンバー制度について、平成29年7月から国や地方公共団体との間で情報連携が始まりました。マイナンバー制度関連事務について、セキュリティ対策など適切な事務処理に努めるとともに、市民サービス向上のための活用方法の検討やマイナンバーカードの普及促進を図りました。

市民参加の推進

広報広聴の充実 (総合政策課)

1,854 万円

財源 国：56万円 県：74万円
その他：65万円 市：1,659万円

行政情報の発信は、広報紙の発行と併せ、新聞や雑誌、フリーペーパーなど、市民の生活スタイルに応じた様々な媒体による情報発信が不可欠です。特に、平成28年度にリニューアルした市公式ホームページでは、市政の最新情報を分かりやすく市内外に発信しました。

また、定住・移住に関するシティプロモーションの一環として、市PRパンフレットを作成し、定住促進に向けた情報発信に取り組みました。



第7章

計画の推進と実現のために

■ 地番現況図などの更新 (税務収納課)

1,134 万円

財源 市：1,134万円

課税対象物件の的確な把握による適正な課税を図るため、地番現況図や公図の通年異動更新と平成30年度評価替えのための土地評価見直し業務を行いました。

■ 固定資産(土地)評価の価格修正に伴う標準宅地時点修正業務

(税務収納課)

133 万円

財源 市：133万円

地価の下落を次年度の固定資産評価額に反映させるため、7月1日時点における標準宅地の時点修正率を鑑定評価により求め、市内全域の宅地等について価格修正を行いました。

■ 収納率の向上及び滞納対策の強化

(税務収納課)

65 万円

財源 市：65万円

収納率の向上のため、資力のある滞納者に対して、給与及び不動産の差押を積極的に行いました。

また、ファイナンシャルプランナーによる多重債務者のための過払い利息分の返還請求など、法律相談や家計改善指導などに組み滞納整理を行いました。



■ 第2次宮若市総合計画の策定

(総合政策課)

711 万円

財源 市：711万円

計画期間を平成30年度から平成39年度までの10カ年とする「第2次宮若市総合計画」の策定に平成28年度から平成29年度の2カ年をかけて取り組みました。平成29年度は、10年間の基本的な方向性を示す基本構想とより具体的な施策を定めた前期基本計画を策定しました。



市民が参加するまちづくり委員会からも意見を頂きました

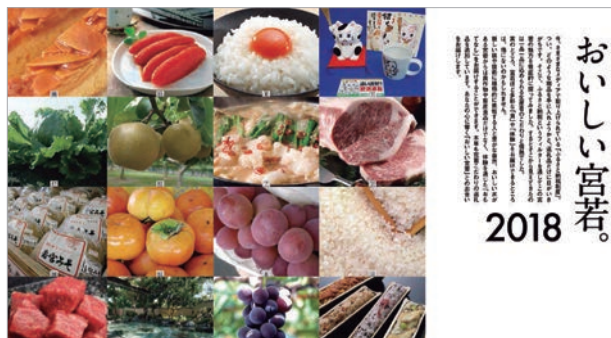
■ 宮若市輝くふるさと応援寄附金制度

(総合政策課)

1億8,764 万円

財源 国：95万円 その他：1億8,159万円
市：510万円

宮若市のまちづくりに賛同する方からの「ふるさと納税制度」による寄附金を財源に、特色あるまちづくりを進めています。平成29年度は、寄附を頂いた皆さんに送る返礼品の充実に取り組みながら、宮若市のPRを行いました。



資料. 決算概要

一般会計

歳入総額 170億8,731万円

歳出総額 158億9,440万円

差引残額 11億9,291万円

歳入

款	決算額
1 市税	48億5,867万円
2 地方譲与税	1億5,967万円
3 利子割交付金	440万円
4 配当割交付金	1,137万円
5 株式等譲渡所得割交付金	1,201万円
6 地方消費税交付金	5億8,155万円
7 ゴルフ場利用税交付金	4,731万円
8 自動車取得税交付金	5,860万円
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	165万円
10 地方特例交付金	1,164万円
11 地方交付税	37億7,705万円
12 交通安全対策特別交付金	561万円
13 分担金及び負担金	1億3,879万円
14 使用料及び手数料	3億6,725万円
15 国庫支出金	28億3,027万円
16 県支出金	10億3,427万円
17 財産収入	4億4,466万円
18 寄附金	1億2,912万円
19 繰入金	7,846万円
20 繰越金	8億9,502万円
21 諸収入	2億3,845万円
22 市債	14億149万円

歳出

目的別

款	決算額
1 議会費	1億7,009万円
2 総務費	22億1,268万円
3 民生費	63億8,908万円
4 衛生費	10億8,324万円
6 農林水産業費	5億7,104万円
7 商工費	2億8,885万円
8 土木費	12億707万円
9 消防費	9億8,960万円
10 教育費	15億5,874万円
12 公債費	14億2,401万円

性質別

区分	決算額
人件費	21億56万円
扶助費	41億2,521万円
公債費	14億2,401万円
物件費	21億3,561万円
維持補修費	1億1,940万円
補助費等	15億6,580万円
繰出金	16億5,322万円
積立金	6億6,584万円
投資及び出資金・貸付金	2,000万円
投資の経費	20億8,475万円

国民健康保険特別会計

歳入総額	38億 386万円
歳出総額	41億8,811万円
差引残額	−3億8,425万円

歳入

款	決算額
1 国民健康保険税	5億6,995万円
2 使用料及び手数料	38万円
3 国庫支出金	10億1,340万円
4 療養給付費等交付金	5,209万円
5 前期高齢者交付金	7億8,475万円
6 県支出金	1億7,623万円
7 共同事業交付金	8億8,467万円
9 繰入金	3億933万円
11 諸収入	1,306万円

歳出

款	決算額
1 総務費	6,452万円
2 保険給付費	22億5,078万円
3 後期高齢者支援金等	3億7,843万円
4 前期高齢者納付金等	137万円
5 老人保健拠出金	1万円
6 介護納付金	1億4,524万円
7 共同事業拠出金	8億7,584万円
8 保健事業費	1,972万円
11 諸支出金	694万円
13 繰上充用金	4億4,526万円

後期高齢者医療特別会計

歳入総額	4億2,497万円
歳出総額	4億1,704万円
差引残額	793万円

歳入

款	決算額
1 後期高齢者医療保険料	2億8,345万円
2 使用料及び手数料	5万円
3 繰入金	1億3,417万円
4 繰越金	722万円
5 諸収入	8万円

歳出

款	決算額
1 総務費	244万円
2 後期高齢者医療広域連合納付金	4億1,304万円
3 諸支出金	106万円
4 保健事業費	50万円

住宅新築資金等特別会計

歳入総額	1,332万円
歳出総額	256万円
差引残額	1,076万円

歳入

款	決算額
1 貸付回収金	200万円
2 県支出金	11万円
3 財産収入	79万円
5 繰越金	1,042万円

歳出

款	決算額
1 総務費	12万円
2 基金積立金	79万円
3 公債費	165万円

簡易水道事業特別会計

歳入総額	1億1,535万円
歳出総額	1億1,426万円
差引残額	109万円

歳入

款	決算額
1 分担金及び負担金	175万円
2 使用料及び手数料	4,418万円
3 繰入金	4,900万円
4 繰越金	109万円
5 諸収入	1,933万円

歳出

款	決算額
1 総務費	2,721万円
2 事業費	3,118万円
3 公債費	5,587万円

公共下水道事業特別会計

歳入総額	6億8,641万円
歳出総額	6億5,801万円
差引残額	2,840万円

歳入

款	決算額
1 分担金及び負担金	2,748万円
2 使用料及び手数料	3,493万円
3 国庫支出金	1億3,377万円
5 財産収入	7万円
6 繰入金	2億5,291万円
7 繰越金	3,236万円
8 諸収入	1,729万円
9 市債	1億8,760万円

歳出

款	決算額
1 総務費	8,657万円
2 公共下水道建設費	4億2,910万円
3 公債費	1億4,234万円

吉川財産区特別会計

歳入総額	215万円
歳出総額	105万円
差引残額	110万円

歳入

款	決算額
1 財産収入	20万円
2 繰入金	0万円
3 繰越金	186万円
4 諸収入	9万円

歳出

款	決算額
1 総務費	76万円
2 財産費	29万円

水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収入 4億9,976万円

区分	決算額
給水収益	4億516万円
受託給水工事収益	881万円
その他営業収益	42万円
負担金	1,617万円
他会計補助金	60万円
水道加入金	1,028万円
長期前受金戻入	5,353万円
雑収益	53万円
その他特別利益	426万円

支出 4億1,209万円

区分	決算額
原水及び浄水費	1億1,821万円
配水及び給水費	6,943万円
受託給水工事費	852万円
総係費	4,030万円
減価償却費	1億4,264万円
支払利息及び企業債取扱諸費	3,253万円
特別損失	46万円

(2) 資本的収入及び支出

収入 4億1,295万円

区分	決算額
企業債	3億2,070万円
他会計補助金	278万円
負担金	479万円
国庫補助金	8,468万円

支出 5億5,071万円

区分	決算額
建設改良費	4億4,093万円
固定資産購入費	539万円
企業債償還金	1億439万円

宮若市役所 ダイヤルガイド

事業の内容の詳細などは、お気軽にこちらまでおたずね下さい。

本庁舎 TEL 0949-32-0510 (代) FAX 0949-32-9430

課名	係名	業務内容	電話番号
総務課	総務グループ	職員の人事、給与、研修、福利厚生、文書、情報公開、個人情報保護など	32-0511
	防災安全係	消防、防災、防犯、交通安全など	32-1072
	情報推進係	電算システムの開発管理、セキュリティ対策など	
管財課	財産管理係	市有財産管理、庁舎管理など	32-0761
	契約検査係	契約、請負業者の指名及び入札など	
市民生活課	市民係	転入転出等、住民票、戸籍、印鑑登録、選挙管理委員会など	32-0514
	国保年金係	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療など	32-4004
税務収納課	市民税係	市県民税、国民健康保険税、軽自動車税の賦課など	32-0513
	資産税係	土地、家屋及び償却資産の評価、賦課など	32-1008
	納税管理係	市税、国民健康保険税の徴収及び市税等諸証明の交付、税及び料の滞納対策全般など	
総合政策課	秘書・政策推進グループ	市長及び副市長秘書、広報、表彰、総合計画、総合戦略、広域行政、人材育成、出前講座、国際交流、ふるさと納税など	32-0512
	財政係	予算編成、執行管理、財政計画、地方交付税、市債、行財政改革など	
まちづくり推進課	地域振興係	定住促進、自治会、犬鳴川河川公園、空き家・空き地対策、企業誘致など	32-0773
	拠点整備推進係	拠点整備の促進など	
子育て支援課	子育て支援係	児童及び母子福祉、児童手当、児童扶養手当、家庭児童相談など	32-0517
	幼児育成係	保育所維持管理・運営、学童保育など	
健康福祉課	障がい者福祉係	障がい者(児)福祉など	32-0515
	高齢者福祉係	高齢者福祉、介護保険、介護予防など	
	健康対策係 (保健センターパレット)	健康づくり、各種保健事業、予防接種、母子健康手帳交付、精神保健など	55-6000
	地域包括支援センター	介護予防ケアマネジメント、高齢者の総合相談支援など	33-3456
保護人権課	事務係	生活保護に関する事務など	32-9377
	保護係	生活保護に関することなど	
	人権福祉係	民生・児童委員、人権・同和対策、男女共同参画、隣保館、日本赤十字社事業、住宅新築資金など	32-0765
環境保全課	環境衛生係	じん芥施設、衛生施設に関すること、犬の登録など	32-0516
	環境対策係	環境基本計画、火葬場、不法投棄、太陽光発電等設置助成など	
産業観光課	商工振興係	商工業の振興、消費生活、雇用促進など	32-0519
	観光推進係	観光振興、いこいの里千石、犬鳴ダム周辺公園等観光資源の保全・活用など	
農政課	農林対策係	林業経営の改善、林業生産の基盤整備、有害鳥獣駆除、荒廃森林対策など	32-0518
	農業振興係	農業経営の改善、地域農政推進、認定農業者、農業共済など	
土地対策課	用地係	用地取得、登記、土地収用法、地価公示法、市道の認定、道路台帳、占用使用許可、屋外広告物など	32-0569
	県道整備対策係	県道の整備に関することなど	32-0566
	国土調査係	地籍測量、地籍図作成、地籍簿作成など	
建築都市課	建築都市グループ	都市計画、建築協定、景観、緑化対策、市営住宅の建設・維持管理など	32-0955
	住宅管理係	市営住宅の入退去、特定鉱害復旧等申出事務、住宅改修助成など	
土木建設課	維持係	道路、河川、下排水維持管理、土木災害復旧、交通安全施設など	32-0799
	建設係	土木施設の新設改良工事など	
	農業土木係	農業用施設等の新設・改良・維持管理、土地改良、災害復旧、林地崩壊防止事業、力丸用水など	
下水道課	下水道係	下水道工事施工管理、設計、事業計画など	32-3159
	管理係	下水道資産管理、使用料、浄化槽設置助成など	
会計課	会計係	各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など	32-3323
水道課	業務係	水道料金に関することなど	32-1005
	給水係	水道の給水など	
	浄水係	浄水場の維持管理など	
学校教育課	管理係	学校・幼稚園の施設整備及び維持管理など	32-1007
	学校教育係	児童就学、奨学金、通学区域など	
社会教育課	公民館・スポーツ振興係	公民館・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校体育施設開放など	32-0123
	社会教育・文化推進グループ	図書館、青少年の健全育成、生涯学習、文化財、文化振興など	32-3210
学校給食課	学校給食係	学校給食、給食センターなど	32-0715
議会事務局	議会係	市議会に関することなど	32-1135
農業委員会	農業委員会事務局	農地等の利用関係、農地法、農業者年金など	32-3553
監査事務局	監査事務局	監査委員及び公平委員会に関することなど	32-1004

若宮総合支所 TEL 0949-52-1111 (代) FAX 0949-52-3119

課名	係名	業務内容	電話番号
市民課	市民福祉グループ	転入転出、住民票、戸籍、税の収納証明、国民健康保険、国民年金、児童及び母子福祉、ごみ、し尿など	52-1111

宮若市市民憲章

宮若市歌「輝くふるさと」

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史を先人より受け継いできたまちです。

このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 一 みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 一 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。
- 一 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。
- 一 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくりまします。
- 一 ふるさとを愛し、誇れるまちをつくりまします。

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

共に輝く未来を築こうよ

風が優しさを連れてくる

水が命を授けてくれる

人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる

そんな街だよ 大好きな街だよ

君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

共に輝く未来を築こうよ

輝くふるさとを築こうよ



市章

「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表しています。




市の花・彼岸花

どんな天候でも花を咲かせ、堅実な歩みを目指す宮若市を表しています。



市の木・桜

河川敷や公園などに植えられ、市民の皆さんに親しまれています。



宮若市役所 総合政策課 秘書・政策推進グループ

〒823-0011 福岡県宮若市宮田29番地1

TEL 0949 (32) 0512

FAX 0949 (32) 9430

URL <http://www.city.miyawaka.lg.jp/>

E-mail seisaku@city.miyawaka.lg.jp